

県交通安全施設業協会「令和7年賀詞交歓会」開く 知恵を出し合い団結し、交通安全施設業の発展と飛躍を誓う



会員ら約170人が出席し、盛大に開かれた「令和7年賀詞交歓会」

(一社)福岡県交通安全施設業協会(田中賢哉会長、会員・賛助会員102社)の「令和7年賀詞交歓会」は24日、福岡市の博多サンヒルズホテルで開催した。交歓会には会員と賛助会員、来賓の福岡県県土整備部、福岡北九州高速道路公社、県道路公社、福岡県議会議員(顧問)、福岡県土木親和会の関係者約170人が出席し、会員相互の団結を図り、業界の更なる発展と企業の繁栄を誓い合った。

交歓会は、和田隆浩氏(榊山水製作所)が司会進行。山下茂理事(榊山水製作所)の開会の言葉に続いて、顧問で福岡県議会議員の自民党福岡県支部連合会長の原口剣生県議(公務のため欠席)、自民党福岡県支部連合会常任相談役の蔵内勇夫県議(蔵内謙秘書代理出席)、自民党県議団会長の松尾統章県議(公務のため欠席)が紹介された後、来賓の福岡県県土整備部の馬渡真吾部長、大隈徹浩技監、二場正義次長、喜多島礼和次長と幹部職員、福岡北九州高速道路公社の野上和孝副理事長、福岡県道路公社の長友道路部長(理事長代理)、福岡県土木親和会の椿康光交通安全施設部会会長、竹内敏昭同副会長、井上和雄同副会長らが紹介を受けた。



主催者挨拶の田中会長

主催者挨拶で、田中会長(日本ディックライト榊)は「当協会は設立して9年、会員数も正会員71社、賛助会員31社と合計102社の専門業者団体となり、行政の認知度もかなり上がってきました。これも正会員の皆様や顧問の先生方、関係者の支援があったおかげだと感じております。今年の協

会行事としては5月に通常総会を開催、9月に情報活動。11月には筑豊地区の田川市において地元会員企業や田川市と協力のもと、子供を守ろうプロジェクトを実施。これで県内を一巡し、来年度は福岡市で実施予定となっていますので、ご協力をお願い致します。また、11月には研修会も開催し、これからも皆様方の努力をアピールしていきたい。昨年は働き方改革で、労働時間の規制が厳しくなって苦勞していると思いますが、交通安全施設の整備や維持は社会にとって必要不可欠な社会資本でもあり、様々な課題もありますが、皆さんと知恵を出して団結し乗り越えていきたい」と新年に向けての抱負を述べた。

来賓の代表挨拶で、福岡県の馬渡県土整備部長は「新年あけましておめでとうございます。皆様にご従事頂いている交通安全施設は、交通事故未然防止や事故を減少させる為に欠かすことが出来ません。一方で、昨年11月に福岡県内にて通学中の中学生が車に撥ねられる事故がありました。その後、皆様の協力もあり、早期にカラー舗装等に対応して頂きました。県土整備としても県内が安全で安心な県土になるように努力していきますので、皆様からのご協力をお願い致します」と謝辞を述べた。

このあと、蔵内勇夫県議と松尾統章県議の激励の祝電を披露。乾杯は福岡県交通安全施設業協会の星子洋満副会長（双葉工業㈱）の発声で開宴、知恵を出し合って団結し、交通安全施設業の発展と飛躍を誓い合って、和やかに歓談した。



来賓挨拶の馬渡県土整備部長



乾杯の星子副会長